

農業水利施設維持管理に対する都市住民参加の可能性

Possibility of Civic Inhabitants Participation for Maintenance of Irrigation and Drainage Facilities

喜多丈典* 山本忠男** 福島健司*** 長澤徹明**

KITA Takenori, YAMAMOTO Tadao FUKUSHIMA Kenji and NAGASAWA Tetuaki

1. はじめに

今後、農村地域の高齢化・労働力不足にともなって農業水利システムの維持管理が困難になると予想されることから、非農業従事者の協力についても考えてみる必要がある。さらに、地域住民に加えて大都市市民の参画を得ることが出来れば、農業水利施設の維持管理だけでなく、農業農村に対する認識も変化するものと期待される。これまでの研究¹⁾²⁾では、地域住民による農業水利システムの維持管理の実現にあたって、地域住民に農業水利システムを身近に感じてもらい、積極的な利用を通じて認識を深めてもらうことの必要性が指摘されている。本報告では、札幌市で開催された農産物直売会で実施されたアンケート調査をもとに、身近に農業水利システムが存在しない大都市居住者の農村地帯および農業用水に対する意識を確認し、農業水利施設の維持管理参加の可能性を検討した。

2. 方法

表1 アンケート概要
Table 1 Outlines of questionnaires

2006年9月16~17日に、「北海道農業への支援」や「都市と農村の共生・対流」の一環として、JR札幌駅で「第2回農産物直売フェスタ」が開催された。このフェスタでは、農産物の試食・販売やパネル展のほか、今後の北海道農業の推進に資するためのアンケート調査が実施された(表1)。本調査は北海道開発局が実施し、食料農業農村等に関して1528名の回答、地域用水に関しては1000名の回答を得た。

食料農業農村等に関するアンケート		地域用水に関するアンケート	
回答者1528名(うち、札幌在住者1037名)		回答者1000名(うち、札幌在住者832名)	
設問内容	設問数	設問内容	設問数
食料を購入する際に意識すること	3	農業用水について	1
直売会の利用	2	農村地帯の魅力	1
地産地消について	1	農業体験の参加	1
土地改良区について	1	用水路維持管理作業の参加	1
回答者の属性	4	回答者の属性	4

3. 結果

- (1)回答者の属性 回答者は、両アンケートとも女性が多かった(6割以上)。職業は主婦(4割程度)と会社員(2割程度)が多かった。年齢に関しては、50代以上の回答者が6割以上を占めた。特に地域用水に関するアンケートは高齢者が多い結果となった。
- (2)食料農業農村等に関するアンケート 多くの回答者が食料品を購入する際には価格よりも品質や安全性を重視し、産地を意識すると回答した。また、9割近い回答者が年に1回以上は直売会に行くとして回答した。次回の開催時に再び参加したいとした回答者も8割以上みられ、参加に積極的な様子が見られる。直売会には多くの都市住民が集まると考えられ、販売の場としてだけでなく都市住民と農村住民の交流の場としての活用も可能である。
- (3)地域用水に関するアンケート 1)回答者の認識 農業用水に関する知識は多く、農業体験や用水路管理への参加意思は高い傾向が見られた。特にこの傾向は男性で顕著であった。

*北海道大学大学院農学院 Graduate School of Agriculture, Hokkaido University

**北海道大学大学院農学研究院 Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University

***北海道開発局建設部 Hokkaido Development Bureau, Construction Department

キーワード:農村の魅力, 直売会, 農業体験, 用水路管理作業

農村地帯の魅力については(図1),男女ともに「美しい農村の風景」を回答する割合が高かった。次いで「豊かな自然環境や生物とのふれあい」と「新鮮で安全安心な農業生産物」の回答が多く,特に女性の回答が多かった。「農村地域との交流,ふれあい」は男女とも20%程度だった。

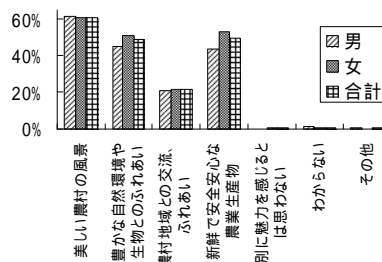


図1 農村地帯の魅力
Fig.1 Attractiveness of rural area

2)参加意思と年齢 札幌地区住民で最も農業体験や用水路管理への参加の意思が強いのは,60代以上の回答者であった。40代は参加意思が低く,20代は農業体験には参加するが用水路管理への参加には消極的な傾向が見られた(図2)。

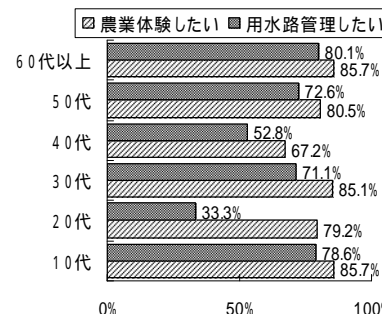


図2 活動への参加意思
Fig.2 Participation intention to activity

3)参加意思と農村の魅力 農村の魅力に対する考え方と,農業体験および用水路管理への参加意思の関係を特化係数³⁾で表現し,参加意思があり,かつ該当する魅力を農村に感じるという回答の特化係数を抜き出した(表2)。特徴として,農業体験と用水路管理への参加意思が低い回答者と比べて参加意思が高い回答者ほど,「農村地域との交流」に魅力を感じている傾向があり,特に女性に顕著であった。札幌在住男性では,参加意思が高い回答者ほど「美しい農村の風景」に魅力を感じている傾向が見られた。「新鮮で安全安心な農業生産物」に対しての魅力は,参加意思が低い札幌居住女性と比べて,参加意思が高い札幌居住女性ほど魅力を感じていない傾向が見られた。参加意思が高い其他地区居住女性は,有意といえるほどではないが参加意思が低い其他地区居住女性よりも「新鮮で安全安心な農業生産物」に対して魅力を感じており,女性の農産物に対する意識と居住場所の違いに関係が示された。其他地区居住男性では,農村の各魅力と参加意思には強い相関が見られず,参加には選択肢以外の魅力があるものと推察される。「豊かな自然環境や生物とのふれあい」に対する魅力には,参加意思による違いは認められなかった。

表2 用水路管理への参加意思と農村地域の各魅力の関係
Table.2 Relations between intention to participate in irrigation channel management and attractiveness of rural area

魅力	用水路管理への参加意思がある			
	札幌地区居住者(男性)	札幌地区居住者(女性)	其他地区居住者(男性)	其他地区居住者(女性)
美しい農村の風景	1.06*	1.01	0.92	0.99
豊かな自然環境や生物とのふれあい	0.95	1.03	1.00	1.14
農村地域との交流,ふれあい	1.10	1.14**	1.05	1.43*
新鮮で安全安心な農業生産物	1.02	0.94*	0.94	1.12

数字は特化係数 **:1%水準で有意 *:5%水準で有意

4.まとめ

農業体験や用水路管理に参加する意思を持つ人々でも,居住地や性別によって農村に対する魅力の感じ方が違うことが示唆された。都市住民は農産物購入の際に価格よりも安全性や品質を重視しており,直売会への積極的参加を希望している。今後,農業体験や用水路管理への参加を促す取り組みを行うにあたっては,直売会などの交流場を活用し,農村の魅力伝えるとともに,具体的な活動を実践していく必要がある。

参考文献 1)喜多丈典,山本忠男,長澤徹明(2006);「農業水利施設に対する地域住民の意識構造」平成18年度農業土木学会大会講演要旨集,pp.416-417
2)山本忠男,喜多丈典,長澤徹明(2006);「農業水利施設の維持管理に関する地域住民意識」平成18年度農業土木学会大会講演要旨集,pp.418-419
3)上田尚一(2003);質的データの解析,朝倉書店,pp.22-23